

カレッジ通信

智辯学園奈良カレッジ小学部

平成29年度 7月号

平成29年7月15日 発行



林間・臨海学校も終わり、あと2週間で1学期を終了します。毎日暑い日が続いていますが児童は元気に中庭やグラウンドを駆け回っています。もちろん学習にも真剣に取り組んでいます。

我々教員もしっかりと1学期の仕上げに励みます。

また、夏休みはご家庭に何かと負担をおかけしますが、ご家族で楽しい思い出を作っていただけたら嬉しく思います。児童全員が健康で有意義な夏休みを過ごせるよう願っています。

7～8月の学校行事

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
7月	17	月	海の日	8月	1	火	個別面談
	18	火			2	水	個別面談
	19	水			3	木	
	20	木	感謝祭		4	金	
	21	金			5	土	親子体験会Ⅱ
	22	土	入試説明会（学園）		6	日	
	23	日			7	月	
	24	月			8	火	
	25	火	育友会実行委員会13:30～		9	水	
	26	水			10	木	
	27	木			11	金	山の日
	28	金			12	土	週休日
	29	土	小5対象中学部見学会		13	日	
	30	日			14	月	
	31	月	終業式		15	火	

※8/9（水）～23（水）は閉校期間になります。宿日直以外、教員は登校しておりません。

※8/26（土）から全学年午前講習を実施します。

※2学期始業式は9/1（金）です。

七夕集会を開催しました

6月30日（金）の3限に七夕集会を実施しました。今年は集会委員会と演劇クラブの児童が低学年の児童に、七夕の劇を見せたり、クイズを出したり、一緒に笹飾りを作ったりと、楽しい時間を共有しました。低学年児童は教室に戻り、作った笹飾りと願い事を書いた短冊を笹に結わえつけました。



ナラ・シェイクアウト（奈良県いっせ地震行動訓練）を行いました

昨年の熊本地震の傷跡がまだ癒えない今年の7月7日に福岡、大分両県で九州豪雨が、7月11日には鹿児島県で地震が起こり、九州での災害が相次いでいます。

特に九州豪雨はごく限られた地域に一気に大雨が降り、発生した大災害でした。報道などで目にする映像は想像を絶するもので、山が崩れ、樹木が倒れ、倒木と土石流が、それまでは平穏に営まれていた人々の生活を一気に奪い去ってしまった惨状には声も出ませんでした。自然の驚異などというありきたりな言葉では言い表すことのできない悲惨な状況が映し出されていました。被害に遭われた方々の嘆きや悲しみを思うと胸がつぶれそうになります。一日も早く平穏な日常に戻ることを祈らずにはおられません。しかし、こういった災害は決して他人事ではなく、いつ私たちの身近で起こってもおかしくありません。災害は、いつかは起こるものと考えて、日頃から備えておくことが大切です。

本校では今年も小学部・中学部・高等部の全校で「ナラ・シェイクアウト（奈良県いっせ地震行動訓練）」に参加し、7月10日（月）10時30分の全校一斉放送を合図に児童生徒が机の下に身を隠すという避難訓練を行いました。同時に教室の備蓄品を児童に配付する訓練も実施しました。今後とも機会あるごとに児童生徒の防災意識を高めるよう努めて参ります。ご家庭でも、防災について、しっかり話し合っていたいただければと思います。



林間・臨海学校に行ってきました

今年の林間・臨海学校も無事に終わることができました。低学年、中学年、高学年と、気儘を抑制し、他者のためにどのように行動すればよいかを考える機会の多い行事だったと思います。この体験を通して児童一人ひとりが自信を持っているいろいろなことにチャレンジできるようになってくれたのではないのでしょうか。ご家庭でも林間・臨海学校について、いろいろ話を聞いてやってください。



1年・2年 国立曽爾青少年自然の家



3年・4年 京都府立青少年海洋センター マリンピア



5年・6年 国立吉備青少年自然の家

塚原先生の仏教コラム



4月末から、一年生は読経の練習に入ります。一番はじめに習うお経は『般若心経』です。リズムが一定なので他の人と読経するのに合わせやすく、暗記しやすいお経なので、一年生では最初に教えています。

一年生は好奇心旺盛で、多くの児童がよく手を挙げてくれるので、できるだけ質問には答えるようにしています。その中で、「ぎゃーてい、ぎゃーてい…」にさしかかった時、多くの一年生が手を挙げました。他の部分は気にならなかったのに、その発音のせいか、「ぎゃーてい、ぎゃーてい」はどんな意味なのか知りたいというのです。

ということで、今回から何度かに分けて、『般若心経』について触れていきたいと思っています。

『般若心経』は、正式には「般若波羅蜜多心経」という題ですが、一般的には『般若心経』とか『心経』と呼ばれます。また、お経とは、昔から八万四千の法門と言われるくらいに、ずいぶんたくさんのお経がありますが、その中でも『般若心経』ほど、首尾の一貫した、しかも簡単なお経は他にありません。そして、宗派を超えて唱えられ、さらには世界中でも他言語に訳されている、有名なお経は他にありません。

しかし、有名なお経にも関わらず、読めばその内容が理解できるかといえ、それは難解と言わざるを得ないものです。基礎的な仏教の知識がなければ理解できない言葉がいくつも出てきます。それだけに、解説書も山のように存在し、さらには解説書の解説書が必要なのではないかと思うほどなので、興味を持っていただけるような、『般若心経』の入り口をご紹介します。

まず「般若波羅蜜多心経」という題についてですが、「般若」＝智慧、「波羅蜜多」＝彼岸にいたる(悟りをひらく)、「心」＝真髓の三つに分けられます。つまり、『般若心経』とは、悟りをひらく智慧の真髓が説かれたお経ということです。それは、人はどうしたら幸せに生きられるのか、仏教の真髓が説かれたお経でもあるということになります。

九州豪雨災害 義援金募金活動について

この度、小学部児童会の代表委員が全校児童に呼びかけて、九州豪雨で被災された方々を少しでも支援したいと、自分たちができる範囲で義援金の募金活動に協力しようということになりました。児童たちが自発的に声を上げ、行動してくれることを心から嬉しく思っています。

募金の期間は、7月18日(火)～20日(木)の3日間です。

集まった義援金は日本赤十字社を通して被災地に届けてもらう予定です。

ご家族の皆様もご協力いただくと有り難く存じます。